



ドローンの特性と空撮技術を生かした災害対策事業

行政提案型協働事業

かながわ自主防災航空

くらし安心部 防災課

団体の概要



団体名: かながわ自主防災航空

設 立: 平成15年4月

住 所: 秦野市南が丘3丁目4番地1-6-110

代表者: 山口好一

- ・平成15年8月15日に秦野市と災害時における協定を結ぶ
- ・平成28年8月までヘリコプターを使用し、防災訓練に参加
- ・平成28年5月よりドローンを導入し現在に至る

目的



市職員のドローン操作技術の習得のための訓練を通して災害時における災害現場の状況撮影等の情報体制を担うツールとして活用することにより、市民の安全・安心を図るとともに、平常時には本市の観光や広報などのPR活動用の写真及び動画撮影のためのツールとして活用する



事業の概要



事業名

ドローンの特性と空撮技術を生かした災害対策事業

事業内容

- ・災害現場の災害状況の撮影等に向けた、市職員を対象としたドローン操作技術の習得訓練実施

事業期間

令和元年6月11日から令和2年3月31日まで

事業実施の効果



- ・職員4名のドローン操縦士が誕生した
- ・ドローンの特性と空撮技術を生かし、防災課と連携して
課題の解決を図っていくことができた



協働事業のメリット



市民・ドローンによる上空からの情報収集調査などは
安全安心につながる

団体・各種の広報媒体などを活用し、広く周知できる

市・職員ドローン操縦士誕生により、独自に市の広報
観光等の宣伝効果が期待できる

- ・開発工事前や工事後の記録が容易である

- ・火災発生時のリアルタイムで状況が把握できる

- ・自然災害現場などの記録が容易である

操縦技術習得 成果



令和元年度 受講生4名 講習内容

期 間:令和元年6月11日～令和2年3月31日

- ・座学CDによる講習および現場講習
- ・基本実技講習
- ・応用技術訓練実技講習(撮影技術含む)
- ・職員4名全員操縦技術習得

「協働」の評価



- ・防災課の目標や目的などを共有できスムーズに協働事業が実施できました
- ・職員の持つノウハウと、当団体の特殊ノウハウが十分いかされました
- ・職員の訓練日時調整、撮影日調整などスムーズに出来対等な立場で事業に取り組みました

「事業」の評価



- ・事業の目標や目的は十分達成できました
- ・当団体と市が協働することにより、特殊ノウハウを十分伝えることができ効果的でした
- ・受益者(市民)のニーズが満たされる事については事業の目標や目的は、災害時が起きてしまった時の準備が中心であるため、受益者のニーズが満たされるのはその時点であると考えられます

職員訓練の様子

基本訓練



栃窪イノシシ被害調査 2019年7月10日



栃窪・骨折者救助の様子

栃窪スポーツ広場
傾斜地整備完成

新東名高速道路工事中



東京方面 9月15日撮影



下りサービスエリア 9月15日撮影